

## 会 議 録 ( 概 要 )

会議の名称	平成 2 8 年度 第 1 回佐渡市立病院運営委員会
開催日時	平成 2 9 年 2 月 1 6 日 ( 木 ) 午後 4 時
場所	金井コミュニティセンター 2 階大会議室
議題	新公立病院改革プランの策定について
会議の公開・非公開 ( 非公開とした場合は、その理由 )	公開
出席者	<p>運営委員 1 5 人</p> <p>佐渡医師会 副会長 三國 栄          両津商工会 会長 佐藤 春雄          佐渡市消費者協会 会長 山本 初子          佐渡市連合婦人会 副会長 中川 美津子          佐渡市老健協議会 代表 本間 豊          佐渡市社会福祉協議会 会長 田上 睦夫          N P O 法人 佐渡の福祉ゆい 理事長 橋本 昌子          連合佐渡地域協議会 議長 小林 義則</p> <p>学識経験者 道見 忠弘</p> <p>両津地区住民 奥田 麻子          両津地区住民 本間 友子          両津地区住民 本間 洋子 ( 巡回診療地区 )          相川地区住民 西村 幸子          相川地区住民 三木 緑          相川地区住民 弾正 成子</p> <p>事務局 8 人</p> <p>副市長 藤木 則夫 ( 市長代理 )          両津病院 院長 石塚 修          相川病院 院長 吉井 章          両津病院 管理部長 小路 昭                            管理課長 金子 雅晃                            庶務係長 三好 正重                            庶務係主任 磯部 陽子          相川病院 管理課長 岩崎 徳之</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 委員名簿及び条例</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新公立病院改革プラン（案）</li> <li>・その他</li> </ul>
傍聴人の数	0
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
小路管理部長	開会宣言
藤木副市長	<p>開設者あいさつ</p> <p>「両津、相川各病院のあり方について検討が必要であるが、両津病院については耐震対策から始まった。対応策について検討を重ねており、近々結論が出る見込みである。両病院の経営面の課題、あり方について、プランをもとに議論いただきたい。」</p>
石塚院長	<p>あいさつ</p> <p>「両津病院は新築移転を希望して、副市長を座長として検討をしている。今後も協力をお願いしたい。」</p>
吉井院長	<p>あいさつ</p> <p>「相川病院はマンパワー不足が否めない。厳しい中で頑張っているのでもよろしくをお願いしたい。」</p>
	<p>委嘱状交付</p> <p>道見委員が代表受領</p>
	<p>委員長及び副委員長の選出</p> <p>互選により、委員長は三國委員、副委員長は橋本委員が選出。</p>
三國委員長	委員長あいさつ
橋本副委員長	副委員長あいさつ
	【議事】以下進行は、三國委員長
小路部長	諮問事項説明

	<p>「公立病院は、平成 19 年に示された公立病院改革ガイドラインに基づき、公立病院改革プランを策定しました。</p> <p>佐渡市立両津病院及び相川病院においても、平成 21 年度から佐渡市立病院改革プランに基づき、それぞれの病院において経常黒字を目指した経営の改革、改善を進めてまいりました。</p> <p>しかしながら、国内では依然として医師不足等の厳しい環境が続き、持続可能な経営を確保しきれていない病院も多いのが現状であり、これを踏まえ、病院事業を設置する地方公共団体に対し新公立病院改革プランを策定するよう新たなガイドラインが示されました。</p> <p>つきましては、新改革プラン策定についてのご意見をいただきたく、諮問いたします。」</p> <p>以上の内容で市長から諮問をいただいておりますので、ご審議のほどよろしく申し上げます。</p>
小路部長	<p>改革プランの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の方向性について</li> <li>・両津病院の改革プラン骨子について</li> </ul>
吉井院長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相川病院の改革プラン骨子について</li> </ul>
小路部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改革プラン骨子全体説明</li> </ul> <p>質疑応答</p>
道見委員	<p>「佐渡市医療構想を策定した推進検討会の組織は？」</p> <p>「両津病院建設検討委員会での議論と医療構想とのからみで関連してくるのかどうか？このプランにも係わるのではないかと思うが」</p>
小路部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会メンバーは市内 6 病院長、介護施設長その他専門的な立場の方で組織して、第 3 者的な立場で検討していただいた。</li> <li>・移転新築検討委員会を昨年秋に立ち上げましたが、座長は藤木副市長、両津病院長、佐渡病院院長、親里施設長や医師会長、介護関係者で組織して検討している。</li> <li>・このプランとのかかわりは、検討会はまだ継続中ではあるが、議論の方向性としては現状の機能や役割を踏襲すべきとのことで、プランに影響が出ることはないと思っている。</li> </ul>
藤木副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡の機能別の病床数が示されているが、両津病院でも一定数の</li> </ul>

	<p>病床を地域包括ケア病床とする、在宅復帰、地域復帰に向けた方向性を盛り込むということで、各委員の皆様と最終的な調整を行っている。改革プランの方向性とは一致しているというふうに思っている。</p>
道見委員	<p>「両津病院の黒字化の大きな要因である10対1の看護体制は、職員の頑張りが大きかったと思うが、診療報酬の改定も大きな要因であったと思うが、今後の動向には危機感を抱いている。医師、看護師の充足率はより重要になってくる。県、市の確保の取り組みはどのようなか？」</p>
藤木副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師がいなければ医療は成り立たないのは当然。</li> <li>・ 検討会でも議論があったが、若手の医師にも佐渡に来てもらうために魅力を出さなければならない。</li> <li>・ 経験を積むのにふさわしい病院になることが重要。</li> <li>・ 医師看護師確保対策に新年度、市では予算の大規模な増額を図っている。積極的進めたい。</li> </ul>
小林委員	<p>「新病院となったときには、2病棟としてほしい。特に地域包括ケア病棟を入れて欲しい。」</p> <p>「看護師対策として、地域包括ケア病棟であれば13対1以上であればよいと聞いている。2病棟とすればそれでも良いと思うのでぜひお願いしたい。」</p> <p>「地域包括ケアシステムの構築にむけて、単独高齢世帯が増えていることが国勢調査で明らかになっているので、通院難民の発生が危惧される。OGを活用して両津相川の広いエリアをカバーする訪問看護の充実をお願いしたい。」</p>
小路部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討委員会でも議論されている。</li> <li>・ 訪問看護に関しては、看護師のパワーが必要。</li> <li>・ 両津病院では訪問看護が出きる様に研修を積極的にやっている。</li> </ul>
奥田委員	<p>「両津病院のクリアしている施設基準はどれか？」</p>
小路部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症防止対策加算2以外はクリアしている。</li> </ul>
三國委員	<p>「以上で質疑を終結します。両津相川病院に関して議論いただきありがとうございました。」</p>

小路部長	<p>・ご意見にいただいた中で修正はありませんでしたので、この形で市長への答申としたいがいかがか。</p> <p>(委員から異議の発言なし)</p> <p>終了 17:20</p>
------	--